

数学

名古屋大学 理学部、医学部、工学部、農学部、情報学部

(自然情報学科、コンピュータ科学科) (前期) 1 / 1

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	4 題
------	-------	-------	-----

解答形式

全問 論述式.

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

全問小設問によって構成されている.

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

抽象関数が出題された (3).

評価する問題の出題が続いている (3)定積分の評価, (4)数列の和の評価).

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	2次曲線 微分法	数学Ⅲ	双曲線と直線の位置関係. 分数関数の最小値.	標準
2	整数	数学A	素数. 不定方程式.	やや難
3	微分法 積分法	数学Ⅲ	抽象関数. 微分法の不等式への応用. 定積分の評価.	難
4	確率・数列	数学A 数学B	サイコロの目に応じる移動, 出会いの確率. 漸化式の利用 (誘導なし). 数列の和の評価.	難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

大問4題の中に、分析力、思考力、計算力、論述力を試す問題が組み込まれている。典型的な計算・証明も含まれる一方で、状況をよく観察して方針を構想する力、および与えられた条件や目標を念頭に置いて式を扱う力が必要となる問題もある。

以上のことを踏まえて日頃の学習においては、正答を理解し習得することだけでなく、自ら考え方針を立て、作業するという試みにより、時には失敗したりしてその原因を探り、次の試みを考えるという学習が必要である。解答作成時間150分を意識して、題意を把握し、方針を立て、作業するという一連の流れを落ち着いて実行することが大切である。